

基地局・端末・電子デバイス向け シールド製品のご提案

5G通信機器(基地局・端末・電子デバイス等)の温度特性試験に対応

第5世代移動通信システム(5G)用の「Sub6」に相当する周波数帯における各種通信機器の需要が増え評価が行われており、通電評価では不要電波の漏えいを防ぎ、他周辺機器への影響を抑える必要があります。

外部からの電波を遮断し、内部の電波を外部に漏らさず温度環境を実現可能とするシールド恒温器をご紹介します。

特長

● 装置単体で電波シールド環境を提供

装置単体で槽内からの電波漏洩を遮断し、外部からの不要電波による妨害を避けることが可能

● 他の設備への不要電波の電波干渉を防止

- ・装置からの電波漏洩がなく、計測器との連携ができます。
- ・シールドルームにおける煩雑な作業の軽減により時間短縮ができ、測定効率化が図れます。

● 省スペース

- ・周辺への影響を考慮する必要がなく装置設置が可能で、レイアウト変更にも柔軟に対応できます。
- ・シールドルームの設置が不要のため、設備投資の抑制が図れます。

● 高シールド仕様

シールド恒温槽のシールドを2重にすることにより、高いシールド性能を実現

- 周波数帯0.5~6GHzで減衰率 70dB以上
従来のシールド仕様恒温器よりも高い減衰率を実現(当社比)
- 温度範囲は-40℃~+100℃
幅広い温度範囲で試験が可能です。

<シールド恒温器>



スペクトラムアナライザ
マイクロ周波数カウンタ
電源 等

<高シールド仕様>



※二重構造により同等種に比べ
内寸法が小さくなります

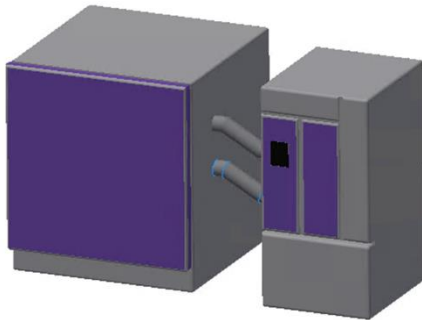
シールド恒温器 ラインナップ一覧

型式	シールド仕様 SU-642	PUSH-2	PUSH-3	PUSH-4	高シールド仕様 PUSHH-3
周波数帯/ 減衰率	4GHz,6GHz/ 40dB以上	0.7~2.4GHz/45dB以上 2.4~4GHz/50dB以上 4~6GHz/60dB以上			0.5~6GHz/ 70dB以上
温度範囲	-40℃~+100℃	-40℃~+100℃			-40℃~+100℃
内寸法 WHD (mm)	400×400×400	500×750×600	600×850×800	1000×1000×800	465×640×645

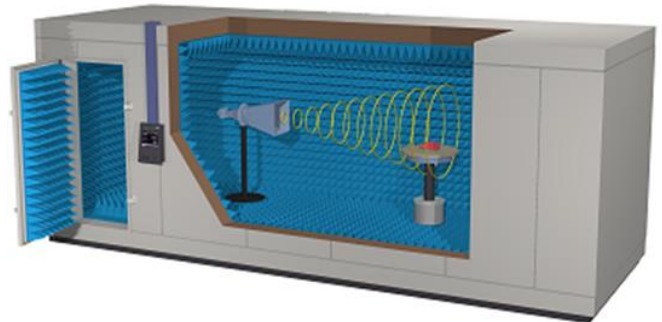
その他シールド製品（電波暗室/電波暗箱 製品事例）

● 電波暗箱/暗室内において低温～高温環境下での評価試験が可能

● 電波暗箱とフレキシブルに対応可能な温度供給装置



● 基地局など大型デバイスが試験可能な電波暗室



製品名	電波暗箱+温度供給装置
周波数帯/ 減衰率	0.5~30GHz/60dB 以上
温度範囲	-40℃~+100℃
内寸法 (mm) W・H・D	1200×1200×1200※

製品名	アンテナ評価用恒温電波暗室
周波数帯/ 減衰率	0.5~30GHz/60dB 以上※
温度範囲	-40℃~+100℃
内寸法 (mm) W・H・D	14000×3000×7000※

※上記以外のシールド性能、内法はご相談ください

エスペック株式会社 <https://www.espec.co.jp/>

530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6

Tel: 06-6358-4741 Fax : 06-6358-5500

●各営業所へお問い合わせください。

●製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。